



2024年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月10日
上場取引所 東

上場会社名 カネコ種苗株式会社
 コード番号 1376 URL <https://www.kanekoseeds.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門・コンプライアンス・IT推進担当 (氏名) 長谷 浩克 TEL 027-251-1619
 定時株主総会開催予定日 2024年8月27日 配当支払開始予定日 2024年8月28日
 有価証券報告書提出予定日 2024年8月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年5月期の連結業績（2023年6月1日～2024年5月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期	61,598	△0.9	1,478	△17.2	1,570	△17.9	1,177	△17.4
2023年5月期	62,179	2.5	1,785	△2.7	1,913	0.2	1,426	9.5

（注）包括利益 2024年5月期 1,501百万円（6.8%） 2023年5月期 1,405百万円（△4.9%）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年5月期	103.28	—	4.9	3.3	2.4
2023年5月期	123.63	—	6.2	4.0	2.9

（参考）持分法投資損益 2024年5月期 -百万円 2023年5月期 -百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期	48,682	24,441	50.2	2,163.02
2023年5月期	46,707	23,513	50.3	2,053.62

（参考）自己資本 2024年5月期 24,441百万円 2023年5月期 23,513百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年5月期	2,235	△486	△614	3,265
2023年5月期	△1,590	△499	△579	2,114

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年5月期	—	11.00	—	20.00	31.00	358	25.1	1.5
2024年5月期	—	11.00	—	22.00	33.00	376	32.0	1.6
2025年5月期（予想）	—	11.00	—	22.00	33.00		31.1	

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	63,500	3.1	1,650	11.6	1,750	11.4	1,200	1.9	106.20

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

	2024年5月期	2023年5月期
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	11,772,626株	11,772,626株
② 期末自己株式数	472,890株	322,818株
③ 期中平均株式数	11,402,797株	11,536,857株

(注) 期末自己株式数は、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式（2024年5月期 66,600株、2023年5月期 66,600株）が含まれております。また、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2024年5月期 66,600株、2023年5月期 66,600株）

(参考) 個別業績の概要

2024年5月期の個別業績（2023年6月1日～2024年5月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期	61,128	△0.9	1,420	△17.4	1,532	△17.9	1,159	△16.8
2023年5月期	61,713	2.4	1,719	△0.8	1,865	2.3	1,393	11.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期	101.72	—
2023年5月期	120.81	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年5月期	48,442		23,666		48.9	2,094.42		
2023年5月期	46,376		23,145		49.9	2,021.48		

(参考) 自己資本 2024年5月期 23,666百万円 2023年5月期 23,145百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年7月30日（火）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催し、当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2023年6月1日～2024年5月31日）におけるわが国経済は、大企業を中心に収益状況が改善する一方、国際情勢の不安定化や円安によるエネルギーや原材料価格の高騰、人件費や物流コストの上昇が、中小企業を中心に多くの企業の経営を圧迫しております。また、個人に目を向けると、近年にない賃上げを実施する企業が多くみられるものの物価上昇も止まらず、個人消費の持ち直しには足踏みがみられる状況となりました。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、国際情勢の不安定化や円安が、国内農業に大きなダメージをもたらしました。資源・穀物価格高騰に伴い肥料・飼料・資材・光熱費などのコストが上昇・高止まりするなか、青果などの生産物価格は思うように上昇しないことから、農家経営は非常に厳しい状況となっております。

このような状況のなか当社グループの業績は、売上高615億98百万円で前年同期比5億80百万円（0.9%）の減収となり、利益面でも、営業利益14億78百万円で前年同期比3億6百万円（17.2%）減、経常利益15億70百万円で前年同期比3億42百万円（17.9%）減、親会社株主に帰属する当期純利益11億77百万円で前年同期比2億48百万円（17.4%）減となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

種苗事業

種苗事業においては、カボチャやキャベツ等の野菜種子の輸出が伸長し、牧草種子関係で、飼料用トウモロコシの販売が増加したことなどから、売上高91億11百万円で前年同期比3.1%の増収となりました。利益面では、人件費の増加や種子品質向上のため物流保管施設を充実させたことに加え、円安に伴い仕入価格が上昇したことからコストアップとなり、セグメント利益6億91百万円で前年同期比19.2%減となりました。

花き事業

花き事業においては、営利栽培農家向けのユーストマ種苗及びカーネーションやカスミ草苗に加え園芸農薬が伸長しましたが、巣ごもり消費が落ち着いたことから花苗や園芸資材の販売が減少し、売上高89億51百万円で前年同期比2.5%の減収となり、利益面でも、セグメント利益84百万円で前年同期比38.0%減となりました。

農材事業

農材事業においては、前年同期は農薬の販売が価格改定前の前倒納品により、売上高・利益とも伸長した反動や、天候不順による作物の生育遅れに伴い薬剤散布も後倒しとなるなど、春先まで需要が低迷し苦戦いたしました。4月以降は天候回復とともに需要が回復して盛り返し、売上高301億99百万円で前年同期比0.3%の増収となり、利益面でも、セグメント利益14億50百万円で前年同期比0.4%増となりました。

施設材事業

施設材事業においては、原料価格高騰にスライドした農業用フィルムや鉄製品等の農業資材の価格上昇・高止まりが、生産者の節約志向や設備投資意欲の減退を招いたことなどから販売が減少し、売上高133億37百万円で前年同期比5.1%の減収となり、利益面でも、セグメント利益2億6百万円で前年同期比36.0%減となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における「資産の部」の残高は、486億82百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億74百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金や電子記録債権が増加したことによるものであります。

また、「負債の部」の残高は、242億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億46百万円増加いたしました。これは主に買掛金が増加したことによるものであります。

「純資産の部」の残高は、244億41百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億28百万円増加いたしました。これは主に利益計上に伴うものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度と比較して11億51百万円増加し、32億65百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、22億35百万円（前連結会計年度は15億90百万円の使用）となりました。

これは主に、売上債権が6億56百万円、棚卸資産が1億75百万円増加したことや、法人税等を4億96百万円支払うなどで資金を使用したものの、税金等調整前当期純利益15億7百万円、減価償却費5億12百万円及び仕入債務の増加14億89百万円などにより資金を獲得したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4億86百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

これは主に、投資有価証券の償還により2億円の資金を獲得したものの、有形固定資産の取得に5億77百万円、無形固定資産の取得に1億2百万円支出したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6億14百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

これは主に、配当金の支払や自己株式の取得によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期
自己資本比率 (%)	43.6	45.7	46.3	50.3	50.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	35.7	36.3	43.0	34.8	32.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.2	0.0	0.2	△0.1	0.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	46.5	193.3	48.2	△127.2	155.9

(注) 1. 各指標は、下記の基準で算出しております。

- (1) 自己資本比率＝自己資本÷総資産
- (2) 時価ベースの自己資本比率＝株式時価総額÷総資産
- (3) キャッシュ・フロー対有利子負債比率＝有利子負債÷キャッシュ・フロー
- (4) インタレスト・カバレッジ・レシオ＝キャッシュ・フロー÷利払い
2. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
3. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
4. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
5. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。
6. 利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（4） 今後の見通し

次期（2025年5月期）の見通しにつきましては、種苗事業は輸出を中心とした野菜種子の販売増及びサツマイモ苗・飼料作物種子での販売増、花き事業ではカーネーション・ユーストマなど営利栽培用花き種苗の販売増を見込んでおります。また、農材事業では気候変動や温暖化による病害虫発生増加に伴う防除農薬の販売増、施設材事業では環境問題に配慮した生分解性の農業資材などの需要が見込まれることから、全てのセグメントで増収を予想いたします。これらを踏まえ、売上高635億円、営業利益16億50百万円、経常利益17億50百万円と予想。また次期は、特別損益として本社屋の建替えに伴う既存建物の取壊し費用1億30百万円の損失計上を予定いたしますが、親会社株主に帰属する当期純利益12億円と増益は確保し、全体として増収増益を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実質的な必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,448,185	3,599,397
受取手形及び売掛金	20,720,127	20,070,658
電子記録債権	388,356	1,754,644
商品	10,231,778	10,418,295
未収入金	2,182,034	2,199,467
その他	271,469	391,370
貸倒引当金	△20,996	△21,984
流動資産合計	36,220,954	38,411,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,429,592	2,459,650
土地	3,999,060	4,231,587
その他（純額）	356,347	398,055
有形固定資産合計	6,785,000	7,089,293
無形固定資産		
投資その他の資産	720,780	609,003
投資有価証券	2,360,797	2,077,934
繰延税金資産	131,194	13,783
その他	508,468	504,828
貸倒引当金	△19,321	△24,170
投資その他の資産合計	2,981,139	2,572,376
固定資産合計	10,486,921	10,270,673
資産合計	46,707,875	48,682,522

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,448,024	21,071,489
未払法人税等	306,191	121,142
その他	1,813,531	1,905,509
流動負債合計	21,567,747	23,098,142
固定負債		
退職給付に係る負債	1,265,239	749,268
役員株式給付引当金	65,563	82,942
その他	295,492	310,298
固定負債合計	1,626,295	1,142,509
負債合計	23,194,042	24,240,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,224	1,765,224
利益剰余金	19,721,047	20,541,739
自己株式	△477,057	△693,622
株主資本合計	22,500,481	23,104,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	956,629	891,253
為替換算調整勘定	2,373	42,611
退職給付に係る調整累計額	54,087	403,120
その他の包括利益累計額合計	1,013,089	1,336,985
非支配株主持分	262	276
純資産合計	23,513,832	24,441,871
負債純資産合計	46,707,875	48,682,522

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
売上高	62,179,177	61,598,847
売上原価	52,671,747	52,142,060
売上総利益	9,507,429	9,456,787
販売費及び一般管理費	7,722,032	7,977,878
営業利益	1,785,397	1,478,908
営業外収益		
受取利息	4,419	4,401
受取配当金	49,623	58,320
受取家賃	67,394	69,560
その他	31,822	23,747
営業外収益合計	153,259	156,030
営業外費用		
支払利息	12,615	14,479
為替差損	9,752	46,095
その他	2,969	3,889
営業外費用合計	25,337	64,464
経常利益	1,913,319	1,570,474
特別損失		
固定資産売却損	2,250	—
固定資産処分損	11,099	1,593
投資有価証券評価損	4,131	—
減損損失	—	61,794
特別損失合計	17,481	63,387
税金等調整前当期純利益	1,895,837	1,507,086
法人税、住民税及び事業税	453,187	336,328
法人税等調整額	16,274	△6,973
法人税等合計	469,461	329,354
当期純利益	1,426,376	1,177,732
非支配株主に帰属する当期純利益	37	32
親会社株主に帰属する当期純利益	1,426,338	1,177,699

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
当期純利益	1,426,376	1,177,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,407	△65,375
為替換算調整勘定	16,176	40,238
退職給付に係る調整額	6,647	349,032
その他の包括利益合計	△20,583	323,896
包括利益	1,405,792	1,501,628
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,405,745	1,501,568
非支配株主に係る包括利益	46	60

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,491,267	1,765,224	18,632,298	△276,921	21,611,868
当期変動額					
剰余金の配当			△337,588		△337,588
親会社株主に帰属する当期純利益			1,426,338		1,426,338
自己株式の取得				△200,136	△200,136
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	1,088,749	△200,136	888,612
当期末残高	1,491,267	1,765,224	19,721,047	△477,057	22,500,481

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,000,036	△13,803	47,439	1,033,673	240	22,645,781
当期変動額						
剰余金の配当				—	—	△337,588
親会社株主に帰属する当期純利益				—	—	1,426,338
自己株式の取得				—	—	△200,136
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△43,407	16,176	6,647	△20,583	21	△20,562
当期変動額合計	△43,407	16,176	6,647	△20,583	21	868,050
当期末残高	956,629	2,373	54,087	1,013,089	262	23,513,832

当連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,491,267	1,765,224	19,721,047	△477,057	22,500,481
当期変動額					
剰余金の配当			△357,007		△357,007
親会社株主に帰属する当期純利益			1,177,699		1,177,699
自己株式の取得				△216,564	△216,564
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	820,692	△216,564	604,127
当期末残高	1,491,267	1,765,224	20,541,739	△693,622	23,104,608

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	956,629	2,373	54,087	1,013,089	262	23,513,832
当期変動額						
剰余金の配当				—	—	△357,007
親会社株主に帰属する当期純利益				—	—	1,177,699
自己株式の取得				—	—	△216,564
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△65,375	40,238	349,032	323,896	14	323,910
当期変動額合計	△65,375	40,238	349,032	323,896	14	928,038
当期末残高	891,253	42,611	403,120	1,336,985	276	24,441,871

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,895,837	1,507,086
減価償却費	454,596	512,117
減損損失	—	61,794
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,786	5,836
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△19,734	△16,505
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	13,604	17,379
受取利息及び受取配当金	△54,043	△62,722
支払利息	12,615	14,479
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,131	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	13,350	1,593
売上債権の増減額 (△は増加)	801,533	△656,126
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,068,042	△175,924
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,320,480	1,489,993
未払消費税等の増減額 (△は減少)	73,250	46,045
その他	△38,355	△61,133
小計	△1,219,951	2,683,911
利息及び配当金の受取額	53,876	62,562
利息の支払額	△12,504	△14,343
法人税等の支払額	△412,026	△496,519
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,590,605	2,235,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△368,568	△577,135
有形固定資産の売却による収入	5,750	—
無形固定資産の取得による支出	△33,743	△102,485
投資有価証券の取得による支出	△58,596	△10,741
投資有価証券の償還による収入	—	200,000
その他	△44,347	4,267
投資活動によるキャッシュ・フロー	△499,505	△486,095
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,800,000	3,600,000
短期借入金の返済による支出	△3,800,000	△3,600,000
配当金の支払額	△337,127	△356,608
自己株式の取得による支出	△200,136	△216,564
その他	△41,924	△41,135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△579,189	△614,308
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,497	16,004
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,661,802	1,151,212
現金及び現金同等物の期首残高	4,776,488	2,114,685
現金及び現金同等物の期末残高	2,114,685	3,265,897

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（株式報酬制度「株式給付信託（BBT）」）

当社は、2019年8月27日開催の第72回定時株主総会決議に基づき、当社の取締役（社外取締役を除く。以下、同じ。）に対する株式報酬制度「株式給付信託（BBT（=Board Benefit Trust））」（以下、「本制度」といいます。）を導入しております。

本制度は、取締役の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にすることで、中長期的な企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的としております。

本制度に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）に準じております。

（1）取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託（以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」といいます。）を通じて取得され、取締役に対して当社が定める役員株式給付規程にしたがって、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭（以下、「当社株式等」といいます。）が本信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

（2）信託に残存する自社の株式

当社は、本信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当連結会計年度末の当該自己株式の帳簿価額は96,404千円、株式数は66,600株であります。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別セグメントから構成されており、「種苗事業」（野菜種子、牧草種子、ウイルスフリー苗及び種イモ、造園・法面工事の請負施工）、「花き事業」（花苗、家庭菜園向け野菜苗、家庭園芸用資材）、「農材事業」（農薬、被覆肥料）、及び「施設材事業」（農業資材、養液栽培プラント・温室の設計・施工）の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

なお、報告セグメントに直接配分できない本社及び支店の償却資産等は、各報告セグメントに配分しておりません。一方、それら資産の減価償却費については、合理的な基準に従い、対応する各報告セグメントに配分しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	8,836,360	9,178,074	30,109,889	14,054,853	62,179,177
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,836,360	9,178,074	30,109,889	14,054,853	62,179,177
セグメント利益	856,407	135,914	1,444,543	321,966	2,758,832
セグメント資産	10,762,877	3,892,231	16,045,404	5,879,829	36,580,342
その他の項目					
減価償却費	231,376	47,416	84,613	60,910	424,317
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	174,409	56,369	—	116,581	347,360

当連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	9,111,363	8,951,259	30,199,133	13,337,090	61,598,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,111,363	8,951,259	30,199,133	13,337,090	61,598,847
セグメント利益	691,886	84,288	1,450,313	206,071	2,432,559
セグメント資産	11,542,303	3,833,833	16,627,735	5,605,888	37,609,761
その他の項目					
減価償却費	258,640	65,265	84,940	70,329	479,176
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	202,747	155,677	894	5,399	364,717

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	62,179,177	61,598,847
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の売上高	62,179,177	61,598,847

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,758,832	2,432,559
全社費用（注）	△973,434	△953,651
連結財務諸表の営業利益	1,785,397	1,478,908

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、主に本社管理部門に係る費用であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	36,580,342	37,609,761
全社資産（注）	10,127,532	11,072,760
連結財務諸表の資産合計	46,707,875	48,682,522

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない資産であり、主に現金及び預金、本社及び支店の土地・建物であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	424,317	479,176	30,279	32,941	454,596	512,117
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	347,360	364,717	104,347	399,274	451,708	763,992

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社及び支店における増加額であります。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

(単位：千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	全社・消去	合計
減損損失	51,665	—	—	—	10,129	61,794

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
1株当たり純資産額	2,053.62円	2,163.02円
1株当たり当期純利益	123.63円	103.28円

(注) 1. 「株式給付信託 (BBT)」の信託財産として信託が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式に含めております (前連結会計年度66,600株、当連結会計年度66,600株)。

また、「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (前連結会計年度66,600株、当連結会計年度66,600株)。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,426,338	1,177,699
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益 (千円)	1,426,338	1,177,699
普通株式の期中平均株式数 (千株)	11,536	11,402

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

・ 退任予定取締役

取締役 花き園芸部長、花き育種研究室担当 山口 勇

・ 新任監査役候補

常勤監査役 山口 勇 (現 当社取締役 花き園芸部長、花き育種研究室担当)

(非常勤) 監査役 小坂橋 信也 (元 群馬銀行常勤監査役、群馬振興株式会社及び群馬中央倉庫株式会社
代表取締役社長)

(注) 小坂橋 信也氏は、社外監査役候補であります。

・ 退任予定監査役

常勤監査役 榊澤 均

(非常勤) 監査役 高井 研一

③ 就任及び退任予定日

2024年8月27日